

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	ナレーションⅠ	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名	声優コース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	2単位					授業形態	実習
教科書/教材	ナレーション原稿						
担当教員情報							
担当教員	松田佑貴			実務経験の有無・職種	有・声優		
学習目的							
実際に使用する機材の使い方とマイクワーク、テキスト(台本)で使われる用語、台本の読み方、ナレーションにおけるマイク前での発声、距離感を覚える。							
到達目標							
作品における自分の役どころを理解し、豊かな表現ができる事を目標としている。							
教育方法等							
授業概要	先ずナレーションに興味を持たせる。その上で自分で表現したものを録音して聞かせることによってそれぞれの意図と結果のギャップを埋めていき豊かで十分な表現が出来るように進めていく。						
注意点	自分の事だけに目を向けるのではなく問題点、課題は仲間と常にチェックしあえるようなクラスの雰囲気作りが大事である。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	発表	100%	ナレーションの演技力、表現力を見る				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	ナレーションに興味を持つ（1）		挨拶、スタジオ内でのマナー、マイク、レシーバー等機材の使い方を覚える				
2回	ナレーションに興味を持つ（2）		マイクの前に立って台詞を言ってみる				
3回	ナレーションに興味を持つ（3）		画面を見ながら演技することを体験し、その面白さを知る				
4回	ナレーションに興味を持つ（4）		自分がナレーションしたものを聞いてみる				
5回	ナレーションに興味を持つ（5）		どうすれば魅力的なナレーションになるのか考えてみる				
6回	現場の流れを理解する（1）		現場で使われる用語を覚える				
7回	現場の流れを理解する（2）		リハーサルの仕方を覚える				
8回	現場の流れを理解する（3）		ナレーションのテンションを考える				
9回	現場の流れを理解する（4）		原稿を読んでナレーションの流れを理解する				
10回	現場の流れを理解する（5）		表現がどうだったのか考える				
11回	マイク前で台詞が言える（1）		マイクの前で十分な声が出せるようになる				
12回	マイク前で台詞が言える（2）		マイクの前で集中して演技出来るようになる				
13回	マイク前で台詞が言える（3）		共演者とのマイクワークを考える				
14回	マイク前で台詞が言える（4）		発音、アクセント、鼻濁音、訛り等チェックする				
15回	マイク前で台詞が言える（5）		録音した自分の台詞を聞きそれらを客観的に分析してみる				